○評価結果を踏まえた改善方法

令和5年度の改善について~ (結果)

~令和3年度版(令和5年6月23日公開)の学校関係者評価委員会

「教育理念・目標」で指摘があった「時代に見合った改革・変革を継続する必要」について、時勢にあった学校教育を施し、専門学校の使命としての職業人育成を行った。

「学校運営」で指摘があった「コンプライアンス遵守の徹底」について、外部から講師を 招聘し研修を行った。今後も継続した研修行い、コンプライアンス遵守を徹底する。

「教育活動~教育方法・評価等」で指摘があった「海外大学との継続した取組」について、 令和元年の中国・青島大学との協定提携以降新たにインドネシア共和国のパラヒャンガン カトリック大学、バンドン工科大学、IPMI 国際ビジネススクールと協定を締結した。数年 続いたコロナ禍が明けたことで提携校との活発な交流が期待できる。

「教育活動~資格試験」で指摘があった「e ラーニング学習教材へのログイン状況や取り組み状況の確認」について、確認周期を設定し教員による定期的な学習状況の確認を行った。

「教育活動~教職員」で指摘があった「業務の効率化を組織全体で考えること」について、 定期開催する部長主任会議を導入した。上長間で業務に関する情報を共有しあうことで、上 長を通して他職員にも他部署が行っている業務の情報が確認でき、互いに業務補助などを 行いやすくなるなど組織全体での業務の効率化が期待できる。

「学修成果」で指摘があった「学生が人生選択において後悔のないような指導を行うこと」 について、退学意向の学生には学生の将来を考え担任面談・校長面談を実施し、意志の確認 や今後の進路の確認を行った。

「学生の受入れ募集」で指摘があった「入学希望する高校生にわかりやすい情報提供」について、パンフレットのデザインを一新し、募集ターゲットとなる 20 歳前後の学生にとってより訴求力のある媒体による情報提供を行った。

「法令等の遵守」で指摘があった「選挙権に関する学生への講習会」について、地元自治 体の快いご協力のもと無事実施できた。次年度以降も継続して実施する予定である。

「社会貢献・地域貢献」で指摘があった「with コロナでの公開講座や職業訓練の実施」について、数年ぶりに公共職業訓練を開講した。

令和6年度以降の改善について~(予定)

~令和4年度版(令和6年6月21日公開)の学校関係者評価委員会

「教育理念・目標」で指摘があった「保護者との連携」について、引き続きオンラインを 積極的に活用し、今後も保護者と連携・情報共有を行う。迅速な学生情報の把握に努める予 定である。

「学校運営」で指摘があった「教育の質向上を図る取組みの継続」について、次年度以降 も引き続き常勤教員、非常勤講師ともに外部評価委員による授業視察を実施して本校の教 育方針及び理念を深めていく予定である。

「教育活動〜教育方法・評価等」で指摘があった「放送大学履修科目の結果公表」について次年度以降履修結果の公表方法などの検討を行う予定である。

「教育活動~教職員」で指摘があった「日テレドラマロールプレイを用いた教育手法」について、次年度以降も授業内で定期的に活用し、学生に自分で考え意思決定をする、生きる力を身につけさせる学びの時間を提供する予定である。

「教育活動~教職員」で指摘があった「大学との連携」について次年度以降も継続的に連携を図り、求められる学生像と本校を卒業する学生に乖離がないよう指導に努める。

「学修成果」で指摘があった「留学生指導」について、次年度以降再び適正校と認可されるよう在籍留学生の指導を徹底する予定である。

「学生支援」で指摘があった「食や生理の貧困の支援」について次年度以降も実施の継続 を検討する予定である。

「教育環境」で指摘があった「企業と学生のミスマッチを防ぐ取組み」について、入社後のミスマッチを防ぐためにも次年度以降もより多くの企業と連携してインターンシップを実施する予定である。

「学生受入れ募集」で指摘があった「Web 出願システムの導入」について次年度以降も引き続き出願手順パンフレットを作成し、分かりやすい情報提供を行う。また、出願方法別に出願人数の推移を集計する予定である。

「法令等の遵守」で指摘があった「法律改正に伴う関連規則などの改正」について、次年 度以降も必要に応じて改正していく予定である。